

地方創生整備推進交付金に係る 地域再生計画の評価調書

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価調査

事業名	海と風の銚子みなと町活性化計画				
事業実施主体	千葉県				
計画区域	銚子市の全域（名洗港、外川漁港）				
計画期間	令和5年度～令和9年度				
地域再生計画に記載した数値目標の実現状況					
目標名	基準値	中間目標値			最終目標値 (R9)
		(R6)	実績	達成状況	
①銚子市における観光入込客数の増加	1,748 千人	2,000 千人	2,130 千人	達成	2,400 千人
②外川漁港における漁獲量の確保・維持	553 トン	553 トン	390 トン	未達成	553 トン
中間目標値の実現状況に関する評価					
<p>①銚子市における観光入込客数の増加 中間目標値を達成した。引き続き計画に即した整備を図り、目標達成を目指していく。</p> <p>②外川漁港における漁獲量の確保・維持 例年より時化が多く出漁日数が減ったため、中間目標値は基準値より下がっている。事業効果発揮に向け、引き続き計画に即した整備を図り、目標達成を目指していく。</p>					
事業の実施状況に関する客観的な指標（KPI）の実現状況					
指標名	基準値	中間目標値			最終目標値 (R9)
		(R6)	実績	達成状況	
名洗港の観光船の利用者数	2,113 人/年	2,390 人/年	1,792 人/年	未達成	2,800 人/年
外川漁港の登録漁船数	89 隻	89 隻	93 隻	達成	89 隻
中間目標値の実現状況に関する評価					
<p>名洗港の観光船の利用者数は、目標には達していないが、要因として、観光面に影響が及ぶほど施設整備が進捗していない状況であるためと推測される。</p>					
事業の進捗状況（地域再生計画に記載がある特別の措置を適用して行う事業）					
事業名	計画	中間年度 (R6)		最終 (R9)	
		実績		実績見込み	
港湾施設					
物揚場 (-3.5m) 補修		140m	90m	140m	
防波堤改良		70m	35m	70m	
港内防波堤		300m	0m	300m	
物揚場 (-3.5m)		368m	0m	368m	
浚渫 (航路泊地)		140,000m ³	0m ³	140,000m ³	
漁港施設					
D号護岸		191.5m	0m	191.5m	
沖東防波堤		40m	0m	40m	
事業の進捗状況に関する評価					
<p>港湾施設の物揚場補修及び防波堤改良については、令和7年度中の完成を予定している。物揚場補修及び防波堤改良以外の事業については、整備内容の変更や計画期間延長も視野に入れ、引き続き計画に即した整備を目指していく。</p> <p>漁港施設のD号護岸については令和7年度より整備工事着手予定であり、引き続き、計画完了年度までの整備を目指していく。沖東防波堤の整備については、D号護岸を優先的に整備しており、また、工事実施には、ブロック製作ヤードの確保等の課題があることから、引き続き検討していく。</p>					

事業の進捗状況（その他の事業）	
事業名	取組内容
①『ふるさと銚子』元気創造事業	ふるさと納税の寄付金を、銚子市が誇る豊かな自然・歴史・文化などの貴重な財源を活用し「ふるさと銚子」の元気を創造する。
②ゼロカーボンシティ銚子	2050年を見据えた脱炭素化の実現に向け、官民連携による再生可能エネルギー導入の推進、地球温暖化防止をはじめとする地球環境保全への貢献に長期的な視野で取組ため、「ゼロカーボンシティ」を表明。
③「千葉ブランド水産物」生産水産物第1号「銚子つりきんめ」	「千葉県ブランド水産物」生産水産物第1号として認定され、国内外で高く評価されている「銚子つりきんめ」について、生産者は資源が持続的に利用できるように、操業時間、操業日数の制限や小型魚の再放流など、資源管理に取り組んでいる。
④水産物供給基盤機能保全事業	浚渫工事による漁港内の水深確保等を継続的に行うことで、安全かつ円滑な漁業活動を維持する。
⑤銚子港水産まつり	例年11月上旬頃に開催され、同時開催される「きんめだいまつり」は、千葉ブランド水産物「銚子つりきんめ」の販売のほか、漁協女性部による食堂やきんめ釣りVR体験コーナーなど、人気を博している。
⑥国の名勝・天然記念物「屏風ケ浦」	屏風ケ浦の海食崖は、約310万年から90万年前の地層を観察できる旭市の刑部岬まで続く10kmの崖であり、平成28年に国の名勝及び天然記念物に指定された。銚子市は現在、屏風ケ浦の学術的価値を守りつつ観光資源として活用する「屏風ケ浦保存活用計画」を策定中である。
⑦イルカウォッチング	銚子市沖は、餌を求めて野生のイルカやクジラが集まる絶好のウォッチングポイントになっており、ウォッチングツアーを実施している(有)銚子海洋研究所は海洋ゴミ回収プロジェクト活動を開始し、海洋生物の安全を守るとともに、海洋ゴミの回収や、地元海水浴場を中心にビーチクリーンの啓発活動を行っている。
⑧スポーツ合宿誘致を核とした「スポーツタウン」ブランディング事業	旧銚子市立銚子西高校をリノベーションした「銚子スポーツタウン」は、スポーツツーリズムを通じて地域活性化を図っている。
事業の進捗状況に関する評価	
①『ふるさと銚子』元気創造事業	地域再生を図るために行う事業を実施するにあたり、ふるさと納税による財源をより柔軟に活用するため、「元気創造事業」を含む3つの事業を「ふるさと銚子ひと・まちづくり推進事業」に統合した。学校給食費の無償化、子どものインフルエンザ予防接種の助成などの子育て支援対策や、夏に行われるみなとまつり（花火大会、神輿パレード）の実施経費負担、銚子港水産まつり事業費の補助などに活用し、地場産業の振興・地域活性化、生活基盤の整備、教育・文化・スポーツ活動の充実を推進している。
②ゼロカーボンシティ銚子	2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指すゼロカーボンシティの実現に向け、令和3年2月に策定した「銚子市ゼロカーボンビジョン」の実効性、効果を強化していくため、内容が共通する「地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地球温暖化対策実行計画（事務事業編・区域施策編）」を統合したゼロカーボンビジョンへの改正を行った。 令和7年3月には、銚子商工会議所、地元金融機関（銚子信用金庫、銚子商工信用組合）、銚子電力株式会社（銚子市が50%出資し設立した地域新電力会社）と「食の脱炭素シフトによる創業・事業承継を通じたグリーン社会の実現に向けた連携協定」を締結し、地域資源を活かした創業・事業承継支援を推進するとともに、中小企業や小規模事業者などの脱炭素ビジネスが持続自走できる環境整備に取り組んでいる。

③「千葉ブランド水産物」生産水産物第1号「銚子つきんめ」

外川漁港を拠点とするきんめだい漁の経営安定を図るため、資源管理、魚食普及等の取り組みを漁業者自らが継続して実践している。

平成18年に千葉ブランド水産物第1号に認定された「銚子つきんめ」のブランド力をさらに向上させるため、PR活動資材の作成や直売イベント等の開催、生産者によるSNS等での随時の情報発信を通じて、銚子市内外の消費者に向けたPR活動を実施し、「銚子つきんめ」の認知度の向上を図っている。

「銚子つきんめ」のさらなる販路拡大・販売促進を目的として、タイ王国への訪問を実施しており、今後も継続的に実施することとしている。

④水産物供給基盤機能保全事業

安全かつ円滑な漁業活動を維持する為、継続して事業を実施している。

⑤銚子港水産まつり

令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面式でのまつり開催は中止となっていたが、令和5年度から、対面式でのまつりを再開し、来場者数は令和5年度は約6,000人、令和6年度は約10,000人と地域住民だけでなく県内外からの注目度が高いまつりとなっている。同時開催される「きんめだいまつり」に関して、「銚子つきんめ」の販売など早朝より購入希望者来場し大盛況である。地元水産物・水産加工品のPR、魚食普及、販路拡大等を図っていく事業であるため、令和7年度以降も継続して実施予定である。(主催：銚子市漁業協同組合、後援として銚子市)

⑥国の名勝・天然記念物「屏風ヶ浦」

屏風ヶ浦の学術的価値を守りつつ観光資源としての活用を図るため、令和5年度に「国指定名勝及び天然記念物『屏風ヶ浦』保存活用計画」を策定した。また、銚子ジオパーク協議会においては、屏風ヶ浦を含む銚子ジオパークの魅力を伝えるため、講演会やジオガイドなどのイベントを実施している。

⑦イルカウォッチング

イルカやクジラのウォッチングツアーなどのクルージング事業を年間を通して実施している。また、海洋生物の安全を守るため、海洋ごみ回収プロジェクトやビーチクリーンなどの啓発活動についても定期的に実施している。

⑧スポーツ合宿誘致を核とした「スポーツタウン」ブランディング事業

スポーツ普及活動として、リオ五輪トライアスロン日本代表の加藤友里恵氏によるランニング教室など実施した。また、スポーツ合宿施設としての利便性の向上を図るため、体育館等のエアコン新設や野球場の外周ネットフェンスの改修を行った。

計画全体の総合評価

本地域再生計画では、名洗港と外川漁港を一体的に整備し、銚子市の強みである漁業の振興を図るとともに、地元で獲れた魚を用いた水産加工品を生かした地域振興事業や既存の地域観光資源と洋上風力発電事業による、新たな観光スポットにより、観光振興・水産振興を促進し銚子地域全体の活性化を図ることを目的としている。

計画の目標については、2項目中1項目が中間目標を達成した。

なお、指標1の銚子市における観光入込客数の増加については、現時点で目標達成の見込みである。引き続き地域再生計画の事業展開を図っていく。指標2については、中間評価時点では基準値より低下がみられるが、現時点で目標達成の見込みである。引き続き計画に則した漁港施設の整備を図り、目標達成を目指していく。

今後の方針等

名洗港においては、洋上風力発電事業者の運転開始時期に合わせた計画で整備を進めていたが、事業撤退を受け、時間的な制約が緩和され、整備内容や事業期間を再検討する必要性が生じているため、計画変更手続きを行っていく。

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

事業名	地域資源を活用した銚子創生計画					
事業実施主体	千葉県、銚子市					
計画区域	銚子市、旭市の一部（旧飯岡町地区及び旧海上町地区）、香取郡東庄町の一部（南部地区）					
計画期間	平成29年度～令和5年度					
地域再生計画に記載した数値目標の実現状況						
目標名	基準値	中間目標値		最終目標値		達成状況
		(R1)	実績	(R6)	実績	
①農業生産の活性化 (管内野菜出荷量の増加)	113,900 トン	117,380 トン	117,900 トン	119,500 トン	96,525 トン	未達成
②観光交流の活性化 (年間観光入込客数の増加)	2,347 千人	2,700 千人	2,554 千人	3,046 千人	2,130 千人	未達成
③スポーツツーリズムの推進 (スポーツ合宿施設宿泊客数の増加)	0 人	10,500 人	7,243 人	16,600 人	9,773 人	未達成
最終目標値の実現状況に関する評価						
①農業生産の活性化（管内野菜出荷量の増加） 生産者の減少などにより最終目標値を下回っているが、市道と農道を一体的に整備したことにより、大型車両の通行が容易になり、輸送時間も短縮された。また、広域農道の開通により、最終目標値の達成が見込める。併せて行った関連事業として農業人材育成と確保に取り組んだことにより、農業生産の活性化に繋がった。						
②観光交流の活性化（年間観光入込客数の増加） コロナ禍等の影響により最終目標値を下回っているが、道路整備により、多くの観光資源が集中する市内東部への東総有料道路方面からのアクセスの向上が図られ、また、関連事業として地域資源を活かした交流イベントや観光案内媒体の整備を実施したことにより、観光交流の活性化に繋がった。						
③スポーツツーリズムの推進（スポーツ合宿施設宿泊客数の増加） コロナ禍により、当初は宿泊者数は伸び悩んでいたが、コロナ禍の収束に伴って宿泊者数は伸びてきている。近年は施設環境を充実させることで、さらなる拡大を目指しているが、期間中の目標は達成できなかった。						
事業の実施状況に関する客観的な指標（KPI）の実現状況						
指標名	基準値	中間目標値		最終目標値		達成状況
		(R1)	実績	(R6)	実績	
ほ場から郊外商業施設等への物流時間の短縮						
銚子市小長町～郊外商業施設等	31分	31分	31分	19分	19分	達成
集出荷施設から首都圏へのアクセス時間の短縮						
集出荷施設～農道終点（東庄町小南）	31分	31分	31分	21分	21分	達成
観光地等までのアクセス改善						
東庄町小南～犬吠埼	41分	39分	39分	36分	36分	達成
東庄町小南～銚子マリーナ	45分	38分	38分	35分	35分	達成
最終目標値の実現状況に関する評価						
市道と広域農道を一体的に整備することにより、ほ場から郊外商業施設、集出荷施設から首都圏への物流時間が短縮され、さらに観光地へのアクセスも改善された。						
事業の進捗状況（地域再生計画に記載がある特別の措置を適用して行う事業）						
事業名	計画	中間年度 (R1) 実績	最終 (R6) 実績	達成状況		
市道整備事業（整備延長）	130m	130m	130m	達成		
広域農道整備事業（整備延長）	1,384m	600m	1,384m	達成		

事業の進捗状況に関する評価	
<p>今回の整備により農作物を運ぶ大型輸送車の通行が可能になり、農作物等の輸送距離が短縮されたと考えている。市道及び広域農道を一体的に整備することにより、農作物の出荷に係る時間短縮による経済効果のみでなく、内陸部から海岸部へのアクセスの向上がもたらす観光客の増加等による地域産業の活性化が図られた。</p>	
事業の進捗状況（その他の事業）	
事業名	取組内容
①農産物の販路拡大	地元産の農産物のブランド化を推進し、消費拡大を図るため、「銚子農産まつり」など、食まつりイベントの開催。販路拡大のため市外、県外へのPRイベントに参加する。
②農業人材の育成・確保	銚子市農業人材育成確保支援協議会が農業人材育成と確保を支援するため、農業技術等の研修会、地域周辺との親睦支援等を実施する。
③スポーツツーリズムの推進	スポーツツーリズムを推進するNPO法人と連携し、スポーツイベントの誘致や開催支援を行う。マラソン大会やスポーツ合宿誘致を行う。
④日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会の活用	関係自治体で構成している協議会において、日本遺産を総合的に発信する。案内板、説明板の整備を行う。
事業の進捗状況に関する評価	
<p>①農産物の販路拡大 市の補助を受けてJAちばみどりが農産物（野菜、畜産物、花き等）のPRを観光客や市民に向けて行っていた「銚子E農業まつり」は、コロナ禍でのイベントの中断を経て、現在は自立し、JAちばみどり単独のイベントとして開催し、農産物（野菜、畜産物、花き等）のPRを観光客や市民に向けて行っている。</p>	
<p>②農業人材の育成・確保 銚子市農業人材育成確保支援協議会が、農業後継者の育成を目的として、銚子市新規就農者激励会を開催するなど、農業人材育成と確保に取り組んだ。</p>	
<p>③スポーツツーリズムの推進 NPO法人と連携して、「銚子イイ！グルメライド」と題し、銚子グルメを前面に押し出した民間のサイクリングイベントを誘致、開催した。また、毎年「銚子さんまマラソン」と題して銚子半島ハーフマラソンを実施し、参加者に銚子で水揚げされたさんまの炭火焼きを振舞い、大会ホームページで市内観光のPRを行っていた。しかし、コロナ禍に経たことでスポーツを主体とした屋外の大規模イベントはほぼ中止となり、現在も再開されていないが、スポーツ合宿を中心に行っている銚子スポーツタウンにおいては、バスケットボール、サッカー、野球などの種目を中心にイベント開催や合宿誘致を行っている。</p>	
<p>④日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会の活用 観光客誘致に向けた取組（旅行商品造成、商談会への参加、デジタル活用のプロモーション活動）、教育旅行誘致に向けた取組（校外学習向け情報提供）、民間事業者と連携したPR活動や観光コンテンツ高付加価値化促進事業などを実施した。また、子ども向け「マンガで旅する『北総四都市江戸紀行』」を制作した。令和5年度以降、JR東日本千葉支社など民間事業者と連携した取組みが充実してきている。</p>	
計画全体の総合評価	
<p>市道と広域農道の整備により、ほ場からの郊外商業施設等への物流時間を12分、集出荷施設から首都圏へのアクセス時間を10分、さらに観光地等までのアクセス時間を最大10分短縮することができた。このことにより、銚子の地域資源を活用するための基盤整備を実施することができた。一方で、農家の高齢化に伴う離農等による生産者の減少、コロナ禍等の外的要因による影響を受けたことで達成できなかった数値目標も複数あり、地域活性化を目標通り進めるには至らなかった。</p>	
今後の方針等	
<p>市道と広域農道の整備による、観光地間や農産物の生産地と消費地間のアクセス力強化の効果を最大限発揮していくため、引き続き、農産物の販路拡大やスポーツツーリズムの推進などのソフト事業を実施し、銚子の地域資源を活用した地域活性化に向けた取組を進めて行く。</p>	

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

事業名	「東京湾アクアライン・東関東自動車道館山線等のポテンシャルを最大限生かすための地域活性化計画」
事業実施主体	千葉県、館山市、木更津市、鴨川市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、南房総市
計画区域	館山市、木更津市、鴨川市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、南房総市、安房郡鋸南町
計画期間	平成29年度～令和5年度

地域再生計画に記載した数値目標の実現状況

目標名	基準値	中間目標値		最終目標値		
		(R1)	実績	(R6)	実績	達成状況
①人口の社会増	594人	2,500人	643人	3,200人	1,114人	未達成
②農業の活性化 (花きの生産額年2%の増加)	314,856千円	340,809千円	199,195千円	354,577千円	122,751千円	未達成
③農業の活性化 (びわの生産額の維持)	161,156千円	161,156千円	135,045千円	161,156千円	84,982千円	未達成
④観光交流の活性化	35,880千人	41,250千人	34,544千人	43,930千人	34,136千人	未達成
⑤地域住民が安全・安心に暮らせる地域の増加 (緊急輸送道路へのアクセス本数が増加する地区の増加)	0地区	0地区	0地区	7地区	7地区	達成

最終目標値の実現状況に関する評価

- ①人口の社会増
経済情勢の変化、高齢化・人口減少などにより最終目標値を下回っているが、市道と広域農道を一体的に整備したことにより、地域住民の利便性の向上、狹隘道路・混雑道路の解消が図られ、人口減少の抑制に繋がった。
- ②農業の活性化（花きの生産額年2%の増加）
道と広域農道を一体的に整備し、また、6次産業化などの担い手支援を行ったことにより、農産物の輸送の効率化が図られ、農業の活性化に繋がったが、農家の高齢化に伴う離農や経営規模の縮小などにより、最終目標値には至らなかった。
- ③農業の活性化（びわの生産額の維持）
農家の高齢化に伴う離農や経営規模の縮小などにより、最終目標値を下回っているが、市道と広域農道を一体的に整備し、また、6次産業化などの担い手支援を行ったことにより、農産物の輸送の効率化が図られ、農業の活性化に繋がった。
- ④観光交流の活性化
コロナ禍の影響により最終目標値を下回っているが、道路整備により、観光地へのアクセス向上が図られ、観光交流の活性化に繋がった。
- ⑤地域住民が安心・安全に暮らせる地域の増加（緊急輸送道路へのアクセス本数が増加する地区の増加）
市道と広域農道を一体的に整備することにより、最終目標値を達成でき、地域住民が安全・安心に暮らせる地域の増加に繋がった。

事業の実施状況に関する客観的な指標（KPI）の実現状況

指標名	基準値	中間目標値		最終目標値		
		(R1)	実績	(R6)	実績	達成状況
農産物の生産地から消費地等までのアクセス改善						
① 南房総市下滝田～海ほたるPA	88分	88分	88分	66分	85分	未達成
② 南房総市下滝田～木更津市公設地方卸売市場～江川海岸～大型商業施設～奈良輪地区（工業団地）～木更津市公設地方卸売市場	146分	142分	142分	113分	132分	未達成

③ 南房総市下滝田～木更津市公設地方卸売市場～かずさアカデミアパーク～民間直売所～民間レジャー施設～大型商業施設・富津工業団地～木更津市公設地方卸売市場	224分	224分	224分	194分	213分	未達成
--	------	------	------	------	------	-----

点在する観光地間のアクセス改善

① 道の駅「三芳村 鄙の里」道の駅「おおつの里」道の駅富楽里とみやま道の駅きよなん道の駅保田小学校→東京湾音一民間直売所→民間直売所→海ほたるPA	122分	122分	122分	109分	118分	未達成
② 道の駅「三芳村 鄙の里」道の駅「おおつの里」道の駅富楽里とみやま道の駅きよなん道の駅保田小学校→かずさアカデミアパーク→袖ヶ浦公園→袖ヶ浦海兵公園→大型商業施設→日帰り温泉施設→海ほたるPA	177分	171分	171分	150分	159分	未達成
③ 潮干狩場→大型商業施設→牧場体験→道の駅きよなん→道の駅「おおつの里」→“渚の駅”たてやま→道の駅「鴨川オーシャンパーク」→民間レジャー施設→濃溝の滝→民間直売所→君津IC	258分	255分	255分	249分	249分	達成
④ 道の駅和田浦WA・O!→渚の駅たてやま→道の駅「三芳村 鄙の里」道の駅「おおつの里」→ぼんや→牧場体験→民間直売所→中の島公園→日帰り温泉施設→民間レジャー施設→海ほたるPA	245分	242分	242分	218分	229分	未達成

災害時のリダンダンシーの確保

千葉県指定緊急輸送道路1次路線、2次路線へのアクセス強化（平成28年度2路線→平成33年度5路線）

① おおつの里（指定緊急避難場所）から	1路線	1路線	1路線	3路線	2路線	未達成
② 山高原地区から	1路線	1路線	1路線	2路線	2路線	達成

最終目標値の実現状況に関する評価

市道と広域農道を一体的に整備することにより、点在する観光地間のアクセス改善が図られたが、一部未開通区間が存在するため、引き続き事業実施を推進する。

また、一部未開通区間はあるが、災害時のリダンダンシーの確保（千葉県指定緊急輸送道路1次路線、2次路線へのアクセス強化）ができた。

事業の進捗状況（地域再生計画に記載がある特別の措置を適用して行う事業）

事業名	計画	中間(R1)実績	最終(R5)実績	達成状況
市道整備事業（整備延長）	7,489m	1,008m	7,489m	達成
市道A 9052号線（館山市）	606m	0m	606m	達成
市道B 101-2号線（木更津市）	125m	125m	125m	達成
市道C 金田1号線（木更津市）	140m	140m	140m	達成
市道D,E 2025号線・2469号線（木更津市）	450m	275m	450m	達成
市道F 6431号線（木更津市）	700m	0m	700m	達成
市道G 貝渚大里線（鴨川市）	1,928m	468m	1,928m	達成
市道H 八重原線（君津市）	1,340m	0m	1,340m	達成
市道I 小山野・山高原線（君津市）	800m	0m	800m	達成
市道J 小久保岩瀬線（富津市）	900m	0m	900m	達成
市道K 都市計画道路高須箕和田線（袖ヶ浦市）	500m	0m	500m	達成
広域農道整備事業（整備延長）	3,200m	1,374m	1,779m	未達成

事業の進捗状況に関する評価	
<p>市道整備事業により、通勤地や観光地等への渋滞緩和及び、東京湾アクアラインや館山道のインターチェンジに近接する道路の整備による高速道路へのアクセス向上が図られ、広域農道の整備により、農産物の迅速な輸送や、点在する観光地間のアクセス向上、災害時におけるリダンダンシーの確保ができた。</p> <p>また、市道及び広域農道の開通により、災害時等における緊急車両の通行を円滑にするなど、地域住民の安全・安心の向上に向けた環境整備ができた。</p>	

事業の進捗状況（その他の事業）	
事業名	取組内容
①地方道路整備交付金事業の活用	地方道路の整備を進め、地域生活環境の向上と本地域へのアクセス改善を推進。
②6次産業化・農商工連携の促進	農水産物の高付加価値化と高収益化を推進し、農林漁業者の所得向上を図るため、食品加工業者など他業種との連携や6次産業化サポートセンター、千葉県産業振興センター等の支援により、地域ブランドとなる新商品の開発やマーケットの創造による需要の拡大を促進する。
③農村漁村等の活性化に向けた地域資源の活用事業	多種多様な農林水産物や美しい農村風景などの地域資源を活用した農林漁業体験施設、農林水産直売所等に観光客の受け入れを進める。また、地域資源を活用した新商品、新サービスの開発・事業化に取り組む中小企業者等を支援する。
④シティプロモーション事業	定住・交流人口の増加や、観光の振興等を図るため、ホームページ等による情報発信を強化するとともに、各種イベント等において地域の魅力をPRする。また、ちばアクアラインマラソンを始めとした当地域での大型イベントにおいては、引き続き連携してPR活動を実施する。
⑤アクアラインを活用した企業誘致の推進	袖ヶ浦椎の森工業団地2期地区について、平成29年度から分譲を開始するため、県と袖ヶ浦市で企業誘致を推進するとともにかずさアカデミアパークとの連携に向け（仮称）かずさインターチェンジの整備を促進する。
⑥地域防災力の向上	災害から住民の生命・身体・財産を守るため、自主防災組織の育成強化や消防団員の確保、消防団の活性化、自助・共助の防災意識を高める防災教育等を推進し、自助・共助・公助が一体となった地域防災力の向上を図る。

事業の進捗状況に関する評価	
①地方道路整備交付金事業の活用	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活環境の向上と本地域へのアクセス改善のため、国土交通省の社会資本整備事業を活用した地方道路の整備を進め、地域道路網の充実を図った。
②6次産業化・農商工連携の促進	<ul style="list-style-type: none"> 農林漁業者が自ら生産から加工・流通や販売まで携わり経営の多角化を目指す「6次産業化」を推進するため、農林漁業者からの相談にワンストップで対応する窓口として、千葉県6次産業化サポートセンターを設置し、県内事業者へ新商品企画や事業計画作成、販路開拓等に関する支援を実施した。なお、国の施策名の変更に伴い、令和4年度から「千葉県農山漁村発イノベーションサポートセンター（6次産業化サポートセンター）」に変更した。 行政、農林漁業、商工、金融等の関係機関で構成する「6次産業化・農商工連携協議会」を設置し、6次産業化等に関する戦略の策定・検討及び戦略に関する交流会を開催した。 経営感覚をもって6次産業化の事業に取り組める人材を育成するため、経営、マーケティング、資金調達等に必要の知見を得るための講義を行うとともに、加工・販売等の実践的な経験を得るため、6次産業化等に取り組んでいる事業者等へのインターンシップ研修を合わせて実施した。 中小企業者等と農林漁業事業者とが連携して行う新商品開発等の取組を促進し、地域経済の活性化を目指すため、ちば農商工連携事業支援基金による助成事業を行った。 南房総産ビジネス倶楽部の会員を対象に、市内農林水産物を原材料として使用し、農林漁業者と加工または販売を行う事業者が連携して商品開発を行う事業に対して補助を行った。

③農村漁村等の活性化に向けた地域資源の活用事業

- ・グリーン・ブルーツーリズム関連施設を紹介するガイドブックを作成しPRを行った。また、県内の農泊・体験コンテンツを紹介・発信するためのセールスツールを作成した。
- ・農林水産物直売所の活性化を図るための研修会等を開催した。
- ・農林漁家体験民宿について取組の活性化を図るため関係機関や民宿経営者等を対象に勉強会を開催した。
- ・県内の直売所の支援として、スタンプラリーやイベントなどによる「ちばの直売所フェア」を行った。また、令和4年度からは、直売所に加えて農林漁業体験施設等を参加対象施設とした「ちばまるしえキャンペーン」を実施した。
- ・県内の地域資源を活用した事業を行う中小企業等を対象に、新商品開発のためのマッチングイベントの開催や、専門人材による個別相談受付等を行ったことで、新商品開発が促進された。
- ・「ちばの地域資源活用商品ロゴマーク」を作成し、県内中小企業の地域資源を活用した商品について、使用許諾を行った。令和3年度からは、名称を「ちばのキラリ ロゴマーク」に変更し、地域の特性を活用した商品についても活用できるように対象の範囲を拡大することで、県産土産品等の認知度向上に寄与した。

④シティプロモーション事業

- ・三井アウトレットパーク木更津内「チーバくんプラザ」にて観光案内を行うとともに、県内の観光情報が一元的に把握できる千葉県公式観光サイト「ちば観光ナビ」やSNSで情報発信を行った。
- ・「ちばアクアラインマラソン2024」では、県内市町村等が出展した観光物産展の開催や、マラソン終了後のランナーへ県を代表する土産品を配布するなど、観光や県産品のPRを実施した。
- ・千葉県移住・二地域居住ポータルサイト「ちばらしい暮らし」において、県・市町村の移住関連情報の一元的な発信を行っている。

⑤アクアラインを活用した企業誘致の推進

- ・袖ヶ浦椎の森工業団地については、分譲が開始されすべて落札された。
- ・圏央道の（仮称）かずさインターチェンジについて、早期整備を図るよう、国に要望した。

⑥地域防災力の向上

- ・自主防災組織の結成や活動を促進するため、平成27年度から令和4年度まで「千葉県地域防災力向上総合支援補助金」、令和5年度は「千葉県地域防災力充実・強化補助金」により、市町村の事業に対し補助を行った。自主防災組織の優良団体の表彰を行い、その活動を広く周知した。また、令和元年度から防災研修センターにて、地域防災力の向上のため、県民や地域の自主防災組織、企業、市町村職員などを対象に研修を実施した。
- ・消防団への加入・理解促進のため、活動紹介・救急救命体験を主な内容とした消防団活動PRイベントや、高校に出向いて消防団員による講話を行う出前講座、SNSを活用した広報などを実施したことで、若者や女性団員の増加が見られた。

計画全体の総合評価

市道と広域農道の整備により、農産物の生産地から消費地等までのアクセス時間を最大14分短縮、さらに点在する観光地間のアクセス時間を最大18分短縮し、アクセス改善することができた。また、災害時のリダンダンシーについても2路線を確保し、アクセス強化をすることができた。これらのことから、東京湾アクアライン・東関東自動車道館山線等のポテンシャルを向上させることができた。一方で、農家の高齢化に伴う離農等による生産者の減少、コロナ禍等の外的要因による影響を受けたことで達成できなかった数値目標も複数あり、地域活性化を目標通り進めるには至らなかった。

今後の方針等

市道と広域農道の整備による、観光地間や農産物の生産地と消費地間のアクセス力強化や災害時のリダンダンシー確保により向上した東京湾アクアライン・東関東自動車道館山線等のポテンシャルを最大限発揮していくため、引き続き、6次産業化の促進やシティプロモーション事業などのソフト事業を実施し、地域活性化に向けた取組を進めて行く。

なお、本計画期間内で整備できなかった広域農道については、引き続き整備を進めていく。